

会員数 59名 出席者43名・欠席者12名・免除会員5名
欠席者 有家・麻田・稲田・和泉享・松山・中野昌・加内・大山・菅
曾川・山下・大西和-会員

前々回出席率 84.5%(10/8)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 岡田 将一郎
幹 事 陶国 栄帰
会報委員長 福田 洋子

お知らせ

- 11月のプログラム
5 (No.1)-会員卓話
12 (No.2)-報告
19 (No.3)-クラブフォーラム
26 (No.4)-客話

- 他RC例会変更
丸亀東 10/13 職場例会
10/20 夜間例会
善通寺 10/21→10/19お別れ会
10/28→10/21職場例会

- ニコニコBOX;
よいことがありました
秋山憲夫君
美味しいアイスありがとうございました。
職場例会宜しく願います
細谷君

<ニコニコ会計累積/¥136,000>

- がんばるBOX;
出席できなくて
松村君
米山奨学生フォンさん、高松グリーンRC
佐藤様をお迎えて
岡田君
お世話になります
高岡君

<がんばる会計累積/¥204,000>

■会長挨拶

皆さん、こんにちは。今日の例会は、米山奨学生のファンム ティフォンさんをお迎えして、客話をいただきます。そして、随行していただいたのは、高松グリーンクラブ副会長の佐藤様です。ふたりとも、ようこそ丸亀ロータリークラブにいらっしゃいました。本日は、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、僕は職業分類から言いますと宝石配布となつておりますので、一応仕事として携わっているプロとして、金の話を。

金価格は、一時ニューヨークで2000ドルを超え史上最高値を記録し、現在も1900ドルを超える水準で高止まりしています。以前は、日本円で1980年に6945円という価格が最高値でした。しかし、このときは石油ショックとアメリカ、ソ連の関係改善から、わずか4ヶ月後には、3645円まで下落します。そのまま20年間下落し続け、1998年には896円という史上最低価格を記録しました。要因は、原油安、円高、世界関係など様々な要因が重なっています。元来、金はいかなる状況でも価値が安定しているもので、利息などは一切ないために、通常は恐慌や戦争などで他の資産が不安定になると上昇する資産です。要は、株式に投資して、下落が始まったり不動産が安くなったりすると、その避難先として金を選ばれて、金価格が上昇するという仕組みです。また、インフレが始まると物の価値が高くなることなので金価格も上昇します。しかしながら、現在はドルの相場も安定していて、インフレも養成されてますので、通常の経済状況だと金価格が上昇するのは考えにくい状況が続いています。では、なぜ金価格が上昇するのか？皆さんも、たぶんお分かりの通りコロナショックです。コロナの経済対策で、世界の中央銀行が巨額の流動性資金を出したため、実体経済以上の流動性資金が、アメリカ株式だけでなくさらに金相場にも流れ込んだことが、一番の原因であります。ですので、この株高と金高はコロナショックと、その経済対応策の影響がなくなる限り、そのまま以上で推移すると思われます。逆に言うと、ワクチンが開発され、経済が戻ってきたときこの関係性は崩れると思います。世界にじゃぶじゃぶの資金は、そのままありますので、投機筋はより株式に向かい、金価格は、少しづつ下落していくのでは、というのが僕の見立てです。そのあたりを見極めて、後世に残す普遍資産として、金を買えば良いかもしれません。

■幹事報告

- ①丸亀市産業文化部文化課よりサーカスのご案内
- ②11月よりネクタイ・ジャケット着用

■委員会報告

- ①細谷プログラム委員長より職場例会のご案内

■例会事業;客話 米山奨学生 pham thi phuong様

皆さん、こんにちは。ベトナムから来ましたファムティフォンと申します。日本に来て6年目になります。1年半穴吹ビジネス日本語学科で日本語を勉強し、2017年に高松大学に進学しました。今は高松大学経営学部経営学科4年生で経営を専攻しています。

私は旅行が大好きです。その土地ごとの自然の美しさ、人々の生活感、地域の特別な文化、習慣、しきたり等を目でも心でも感じることができます。そして、ボランティア活動にも興味を持っています。ボランティア活動を通じて困難があった人の役に立ててよかったです。



(裏へ続く)

2020.10.22

Vol.58

No15

(2809)

私の出身国であるベトナムについて紹介させていただきます。正式名称はベトナム社会主義共和国、首都はハノイ、日本から直線距離で約3600km、関西空港から約4時間半です。面積は日本の約90%で人口は約9370万人です。日本とベトナムは1973年に国交を樹立し、昨年友好45周年を迎えました。1990年以降、日本商工会議所、JETRO、JICA等が事務所を開設したことで日本企業のベトナム進出が一気に進みました。日本企業の進出増加に伴い日本語学習熱も高まっており、現在では中学校、高校、さらには小学校でも日本語の授業が実施されています。

私が日本へ留学することに決めた理由ですが、実は近年ベトナムに投資する日本企業が急増し、日本語ができる人材が求められています。しかし、日本語能力と専門知識を併せ持つ人は非常に珍しく、日本語に加えて専門知識を身につければよい仕事に就けると考えました。

続きまして日本での留學生活についてお話しします。私はいつも勉強を頑張っています。日本語学校ではよい成績をとれるよう頑張り、クラスでトップの成績になりました。また約1年半で日本語能力試験N2に合格しました。日本語学校を卒業後、専門知識を勉強するため高松大学に進学しました。大学に入った頃はまだ日本語の能力が低かったので成績は悪かったのですが、勉強を一生懸命頑張っただけで大学3年生の頃には成績も良くなり、日本語能力試験N1にも合格し、今年は米山奨学生に選ばれました。

また、課外活動にも力を入れており、国際交流クラブでクラブ長をしています。部員にはベトナム人、インドネシア人、中国人がおり、スポーツやボランティア活動を行っています。日本に留学することで世界各国の友達と幅広い交流ができるようになったことは、自分の人生において良い思い出と貴重な財産になりました。

私は日本のサービス業に興味を持っています。日本のサービス業、特にホテル業界は世界から高く評価されているので、ホテル業界に就職し、そこで仕事の実践を通して接客マナーをしっかりと身につけたいと思っています。そして、日本で学んだ知識や経験を活かしてベトナムのサービスの質向上に役立てたいと思います。将来はベトナムに帰って日系企業で働く日本人や海外からの観光客に様々なサービスを提供できるホテルチェーンを運営したいと思っています。